広域交通の利便性の向上

高速道路が連結され、移動や輸送の時間が短縮

例えば、東名高速から東北道間の行き来では都心部や一般道路を走行することがなくなり、大幅な時間短縮が見込まれます。



最短時間の算出法

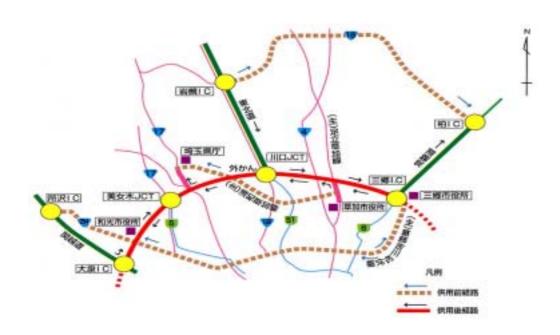
首都高速道路は、規制速度(60km/h ~) 外環は、規制速度(80km/h ~) 環状8号線は、H12ナンバーブレート調査(実測値)の最短時間 (谷原交差点から瀬田交差点まで所要時間32分)

最長時間の算出法

首都高速道路(23km/h~)H11道路交通センサス値 外環は、(26km/h~)H11道路交通センサス値 環状8号線は、H12ナンパープレート調査(実測値)の最長時間 (谷原交差点から瀬田交差点まで所要時間73分)

図 首都圏の高速道路の走行速度、移動時間の変化

外環(埼玉県側区間)の効果事例 埼玉県では、外環の開通により、地域間の移動時間の大幅な短縮が 図られました。





所要時間は、実測値

外環埼玉区間の供用日 平成4年11月27日(三郷~和光) 供用 平成6年6月30日(和光~大泉) 供用

資料:国土交通省